

令和2年度第2回三重県認知症施策推進会議の意見概要について（報告に係るご意見とりまとめ）

<議題（1）みえ高齢者元気・かがやきプランにおける認知症施策（県の取組）に係る記載内容（最終案）におけるご意見>

ご意見の概要	ご意見に対する考え方
<p>○ 施策推進大綱に基づく研修修了に関して 2025年の見込みで他項が半分程度に対して、一般病院の対応力向上研修は1割にとどまっている。この点について改善が必要なことを繰り返し指摘しましたが、今後病院協会との連携など具体的方策の検討が必要と思います。</p> <p>○ 認知症の方々に関して、認知症初期段階の混乱が激しく、介護施設においても、支援が難しいケースが多いです。また、初期段階では体力も身体機能も維持されているために、介護側の体力も必要とされるところです。また、脳の機能低下に従い精神的不安症状や訴えも強く、家族や介護側の精神的な負担も増大します。その一方で、個人の尊厳、権利を尊重した社会的ルールに沿える気運も必要です。この一番難しい時期を、どの様に支援し、どれだけの介護力を養うかが、今後の大きな課題であると思います。</p> <p>○ 今後の三重県に於ける認知症施策として検討を繰り返し、推進されていく本プランを計画だけに終わらさず、実際に各市町の認知症施策の基本となるよう関係機関が真剣に、わが身のことと考へ活動に結び付けて頂けることに期待しています。</p>	<p>○ 一般病院勤務の医療従事者に対する認知症対応力向上研修について、多くの病院において開催できるよう、病院協会のご協力を得て、周知を進めていきます。</p> <p>○ ご意見いただきありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。認知症初期集中支援チームの活動を支援するなど、県としても市町と連携して取り組んでいきます。</p> <p>○ プランについては、今後、社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会において進捗管理を行うとともに、認知症施策については、認知症施策推進会議や認知症市町連絡会議等を通じて、市町や関係機関等と連携しながら、総合的に推進していきます。</p>

- 認知症サポーター養成数に関して、市町村格差人口あたりの割合が、朝日町 2.9%、御浜町 29.1%となっていますが、朝日町は御浜町の 10 分の 1 となっていますが、格差の原因は何か把握する必要はあるかと思います。
- 認知症高齢者の事前登録に関し、個人情報保護法との関連に注意しつつ、推進に期待します。
- チームオレンジを円滑に運営するための調整役の設置等実践前の体制作りは必要と思います。
- 若年性認知症支援コーディネーターとして、それぞれの状況における切れ目のない支援体制（診断直後：就労中、退職後に加え、若年性認知症の特性をふまえた介護、親を介護する子ども支援）も少しずつ取り組んでいこうと思います。
- チームオレンジで活動していただくため、保障を確保してもらうことで、支援される私たちも安心できるし、サポーターも気持ちを楽しんでサポートできると思います。また、サポーター養成後は、勉強だけでなく、形あるもので活動してほしい。
- 認知症施策として、何よりも早期発見、早期治療が大切。

- 認知症市町連絡会等において、各市町の現状を把握し、地域の実情に応じた取組について支援していきます。
- ご意見いただきありがとうございます。市町と連携し、取り組みます。
- チームオレンジの設置を進めるとともに、その運営についてもいただいたご意見を参考とさせていただき、支援していきます。
- ご意見いただきありがとうございます。地域共生社会の実現をめざす重層的支援として重要な取組と考えます。今後ともよろしく願いいたします。
- いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただき、市町に対しても会議等の機会を通じて共有いたします。
- ご意見いただきありがとうございます。認知症サポーター養成講座等を通じて、認知症についての普及啓発に努めます。

- 地域包括ケア体制の充実を図る取組で医療専門職が通いの場等にも積極的関与し、フレイル予防にも着眼した高齢者への支援を行い、地域、職場のサポートを県が主体性をもって行う。
- コロナ渦の下、孤独で閉じこもりがちになる高齢者に対して、自治会、民生委員、老人会など地域の状況に応じた取組が必要。
- 認知症サポーターが活躍できる仕組みづくりや認知症サポーターステップアップ講座の開催について、とても重要なことだと思います。今のところ、一人ひとりの見守り行動に任されているのが実情です。具体的でわかりやすい行動モデルができるとありがたいです。

- 通いの場の充実や介護予防については、大変重要な課題であると認識しています。今後も市町と連携し、積極的に取り組んでいきます。
- ご意見いただきありがとうございます。高齢者に限らず、孤独や孤立、閉じこもりについては、喫緊の課題となっています。皆様のご協力を今後ともよろしくお願いいたします。
- 認知症サポーターについては着実に増加していますが、チームオレンジの構築など、そのさらなる活躍が期待されているところです。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。

<議題（２）本県における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生状況等についてにおけるご意見>

ご意見の概要	ご意見に対する考え方
<p>○ 資料で、認知症の患者のフローが触れられていない点は、残念です。急性期病院に入院する患者の２割は認知症というデータもあり、それらの患者がコロナ陽性の場合、急性期のないか治療と認知症の医療・ケアを両立させるのは、抑制の問題を含めて今後検討が必要です。</p> <p>○ 福祉施設におけるクラスター発生が多く、やはり福祉施設の職員を対象とした定期的なPCR検査の拡充が不可欠と思います。ワクチンに関しても、要望どおりの数量確保が困難なようであり、ワクチン接種スケジュールも確定できない今は感染者の早期発見と隔離しかないと思います。介護施設の職員、利用者家族の日々の行動自粛にも限界があります。活動制限を緩和するなら、検査の頻度と拡充をお願いしたいところです。</p> <p>○ クラスター発生状況についての資料は、当協議会会員事業所に配布し、情報の共有に活用させていただきます。</p>	<p>○ 資料については、在宅医療推進懇話会において説明したものを共有させていただいたため、認知症の患者に特化した視点は入っておりませんでした。治療と認知症の医療・ケアとの両立は難しい課題ですが、今後検討していきたいと考えます。</p> <p>○ PCR検査については、検体を採取した時点の結果として、陰性または陽性を確認することができますが、検体採取後に感染する可能性もあるため、検体を採取した以降の陰性までも証明するものではありません。現時点では、限られた医療資源を投入しなければならない、スクリーニング的なPCR検査を実施することは考えていませんが 今後も引き続き、検査を必要とする方には、幅広く、かつ迅速に検査を受けられるよう、医療機関等との連携により診療・検査体制の充実を図っていきます。</p> <p>○ 資料をご活用いただけるとのこと、ありがとうございます。よろしく願いいたします。</p>

- 収束に向けて情報分析もさらえ、感染症対策本部の皆様「感謝、ありがとうございます。」の一言です。未知であったものが、具体的になり、対策に対する方法も少しづつ見えてきているようですし、ワクチンにも期待しております。心より、お礼申し上げます。
- クラスターが地域で発生した時には、緊急に保健所、市と連携を取り、現地対策チーム設置で対応するのが大切なことである。
- 実例に基づく報告内容であり、大変勉強になりました。

○ご意見いただきありがとうございます。いただいたご意見については、参考とさせていただくとともに、今後も、適時適切な情報共有に努めます。

<その他 ご意見>

ご意見の概要	ご意見に対する考え方
<p>○ 患者本人が生きやすい世の中になるようご尽力をお願いします。</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症への対応に医療機関をはじめ、行政の方々もご尽力いただき感謝しております。 認知症や判断能力が低下した状態の方へ、新型コロナ関係での権利侵害等ないようにこれからも協力して対応していく所存です。宜しくお願い致します。</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症拡大は、意見交換や情報伝達において、変化を余儀なくされました。WEBを使った会議等の新たなシステムも活用しているが、人のぬくもりを感じる事が難しいです。施設入所者と家族の面会においても、お互いに満足がいくものでなく、次第にストレスが増加しつつあります。ワクチン接種までの辛抱と説明はしますが、特に認知症の人々の不安感を煽るものとなっています。 人と人とのつながりを大切に、お互いを思いやる三重県民でありたいと心より願うところです。この社会から、無益な争いや誹謗中傷をなくし、住みやすい地域となるよう願っています。</p> <p>○ 若年性認知症支援に関しては、介護保険でまかなえないサービスを障がい者サービスで補い、在宅生活の維持をしています。しかし、市町により、障がい者サービス利用を拒否される場合があり、市町格差が生じています。若年性認知症者は、精神障</p>	<p>○ ご意見、ご感想をいただき、ありがとうございます。 いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 引き続き、認知症施策の推進にご協力をたまわりますよう、よろしく願いいたします。</p>

害者手帳を所持していることが多く、市町でサービスを拒否されることはいかなることかと思えます。サービスを自費で利用されている方もいるため、統一してサービス利用できるようにしていただきたいと思えます。

- 今後、老人会活動など年間行事計画の中で、介護、認知症予防等行政、社会福祉協議会と連絡をとり、研修会、講演依頼など進める必要があると思う。
- 三重県認知症施策推進会議において、多くの貴重な経験をさせていただき心からありがたく存じます。
- 市民への啓発は、インパクトが強く継続的に行うことが効果的だと思います。認知症の相談窓口や専門機関の紹介など積極的に県レベルでメディアを活用しての周知に力を入れていただくとありがたいです。
- 介護現場における職員の研修について、メイン会場とサテライト会場の集合研修（入場人数は20～25%）方式での開催としたが、参加受講生から感染に対し不安視する意見や参加に伴う現場への影響を心配する声が多く、また感染拡大をうけ、それ以降の研修をすべて「オンライン研修」に変更し、開催した。  
来年度からの研修においても、コロナ感染状況等に応じ開催方法を検討しなければならないと考える。